

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【公表番号】特表 2015-529211 (P2015-529211A)
 【公表日】平成 27 年 10 月 5 日 (2015.10.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-062
 【出願番号】特願 2015-530374 (P2015-530374)
 【国際特許分類】

C 0 7 K 14/245 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/245

G 0 1 N 33/53 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 7 月 27 日 (2016.7.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

1 個の多量体化ドメインと、S l y D 又は S l p A の少なくとも 1 分子とを含む数分子のフォールディングヘルパーポリペプチドを含有する融合ポリペプチドであって、更なる標的ポリペプチド抗原配列が前記融合ポリペプチドの配列の一部に含まれない、前記融合ポリペプチド。

【請求項 2】

前記多量体化ドメインが S k p である、請求項 1 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 3】

1 分子の S k p が、2 個の隣接する S l y D 又は S l p A 分子と融合している、請求項 1 又は 2 に記載の融合ポリペプチド。

【請求項 4】

配列番号 1 (S k p - タンデム - S l y D) を含む融合ポリペプチド。

【請求項 5】

配列番号 9 (S k p - タンデム - S l p A) を含む融合ポリペプチド。

【請求項 6】

干渉を低減し、又は偽陽性の結果を最小にするための、イムノアッセイにおける、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の融合ポリペプチドの使用。

【請求項 7】

アッセイ試薬のタンパク性成分の溶解度を上昇させるための、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の融合ポリペプチドの使用。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の融合ポリペプチドを含む、イムノアッセイにより分離試料中の検体を検出するための試薬キット。

【請求項 9】

干渉を低減し、又は偽陽性の結果を最小にするための試薬として、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の融合ポリペプチドを使用する、分離試料中の検体を検出する方法。

【請求項 10】

下記工程を含む、分離試料中の検体を検出する方法；

- a) 体液試料を、前記試料中に存在する前記検体と特異的に結合し得る、特異的結合パートナーと混合することにより免疫反応混合物を生成する工程、
- b) 前記特異的結合パートナーを前記試料に加える前、同時又は後のいずれかに、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の融合ポリペプチドを前記免疫反応混合物に加える工程、
- c) 前記体液試料中に存在する検体が、前記特異的結合パートナーと免疫反応し、免疫反応生成物が形成されるのに十分な時間、前記免疫反応混合物を維持する工程、及び、
- d) 前記免疫反応生成物のいずれかの存在及び / 又は濃度を検出する工程。

【請求項 11】

分離試料中に存在する検体が抗体である、請求項 9 又は 10 に記載の方法。